

＜ 家 庭 ＞科 学習シラバス

科 目	ファッション造形基礎	学年・類型	2年生 スポーツ& カルチャーコース	単位数	2単位	教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)			
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の構成、衣服材料の種類や特徴など衣服製作に関する知識と技術を習得する。 ・ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる。 								
評価の観点	A 関心・意欲・態度		B 思考・判断・表現		C 技能		D 知識・理解			
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の構成・材料・製作について関心を持ち、衣生活の充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、衣服を創造的に製作する態度を身につけている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服のデザインや材料の選択に関し、個人の創意・工夫を表現することができる。また製作過程や作品の着用において、必要に応じて個人の創意・工夫を生かし表現することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の構成に関する実習や製図の実習、材料に関する実験などを通じ必要な技能を取得している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身につけている。 			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート、プリント類 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント類 		<ul style="list-style-type: none"> ・実習における技術や態度 ・ノート、プリント類 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における発言内容 ・ノート、プリント類 ・定期考査 			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点			
							A	B	C	D
1 学 期	4	1章 衣服の構成 1節 人体と衣服	<ul style="list-style-type: none"> ・着心地のよい衣服を作るためには人体の構造や機能、動作時の変化に対応したゆるみ、性格や年齢による体型の変化などを考慮しなければならないことを理解させる。 ・衣服の構成には立体構成と平面構成の二つがあることを理解させる。 ・二つの類似点と差異について理解させる。立体構成の代表としての洋服、平面構成の代表としての和服の構成の特徴を理解させる。 ・下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解させる。 ・裁縫に関する基礎的な事項を理解させる。 				○		○	○
	5	2節 立体構成衣服と平面構成衣服					○	○		
	6	被服製作技術検定4級 3章 洋服の製作					○	○	○	○
	7	2節 製作例 5. パンツの製作 製作例10 ショートパンツ 被服製作技術検定3級					○	○	○	○
2 学 期	8・9	2章 衣服の素材 2節 衣服素材の性能と選択 2. 衣服材料の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服材料の種類と特徴について理解し、製作する衣服のデザインや着用目的に合った衣服材料の適切な選択と取り扱いができるようにする。 ・用布の見積もり、布地の表裏と布目方向の見分け方、布目を通した裁ち方などが能率的、経済的にできるようにする。また、布地に適したしつけができるようにする。 				○		○	
	10	3章 洋服の製作					○	○	○	
	11	2節 製作例 1. ブラウス・シャツの製作								
	12									
3 学 期	1	4章 和服の製作 1節 製作の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・平面構成と衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。 				○	○	○	
	2									
	3									
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的知識と技術を学びますので、学習を大切にしてください。 ・提出物は期日を守り、実習記録やノートなどの整理を常にしておきましょう。 ・被服技術検定4・3級を受検する。 								